

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

白石町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

佐賀県杵島郡白石町

3 地域再生計画の区域

佐賀県杵島郡白石町の全域

4 地域再生計画の目標

【現状と課題】

白石町の人口は、年々減少を続け、国勢調査では 2015 年(平成 27 年)には 23,941 人となり、住民基本台帳では 2020 年(令和 2 年)には 22,531 人となっている。また、2040 年(令和 22 年)には 17,711 人、2060 年(令和 42 年)には 12,899 人まで減少、加えて、年齢 3 区分別人口では、年少人口(0～14 歳)については 2015 年 2,961 人→2040 年 1,941 人→2060 年 1,286 人、生産年齢人口(15～64 歳)は 2015 年 13,235 人→2040 年 8,724 人→2060 年 5,272 人と、いずれも減少傾向にあると推計されている。老年人口は、増加傾向にあるものの(2015 年 7,745 人→2020 年 7,852 人)、2020 年以降は減少に転じるとされ、2060 年には 5,272 人と推計されている(国立社会保障・人口問題研究所平成 25 年 3 月発表)。

自然動態について、出生数は、1995(平成 7)年以降、減少傾向にあり、死亡者数は、増減を繰り返しながら毎年 300～400 人程度で推移している。死亡数が出生数を上回る自然減の傾向にあり、2018(平成 30)年は 396 人の自然減となっている。合計特殊出生率の推移をみると、2003(平成 15)年以降、概ね 1.60 前後で増減を繰り返していたが、2015(平成 27)年からは減少が続き、全国平均よりも高い数値ではあるが、2018(平成 30)年は 1.48 となっている。出生数の推移をみると、1984(昭和 59)年以降、増減の変動がみられるものの減少を続けており、2018(平成 30)年は 145 人となっている。

社会動態について、1995（平成7）年以降、転出が転入を上回る転出超過となっており、2018（平成30）年は396人の社会減となっている。

このような状況の中、人口減少が進展すると、小学校の児童数や中学校の生徒数の減少はもちろんのこと、高齢者の割合は増加傾向にあるため、高齢化が進展することに伴う要介護者の増加や、町の基幹産業である農漁業においては、就業者数の減少による担い手不足が生じる懸念がある。

このため、当町では、急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある地域社会を維持していくことが喫緊の課題と捉え、白石町人口ビジョンにおける人口の将来展望等を踏まえた、白石町が今後行うべき具体的な施策を白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略として策定し、その実行により人口減少問題に取り組んでいくこととしている。

【目標】

白石町人口ビジョンで示した将来の方向性に沿って、本計画において、以下の4つの基本目標の実現を目指す。

基本目標1 本気！やる気！元気！しろいし！

～若者が安心して働ける場をつくる～

基本目標2 来てよか、見てよか、食べてよか、住んでよか、しろいし！

～白石への新しいひとの流れをつくる～

基本目標3 出会いに感謝！目指せ子宝のまち、しろいし！

～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～

基本目標4 暮らしに豊かさを、地域に絆を、人の温もりを感じるまち、

しろいし！

～まちに活力をもたらし、地域をみんなで盛り上げる～

【数値目標】

5－2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (令和6年 度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	新規就農者数	0人	170人 (累計)	基本目標 1
ア	新規雇用者数	0人	75人 (累計)	
イ	観光入込客数（道の駅来店者を除く）	286,600人	315,200人 (累計)	基本目標 2
イ	移住者数	0人	30人 (累計)	
ウ	合計特殊出生率	1.60	1.65 (累計)	基本目標 3
ウ	婚活サポート事業による成婚数	0組	20組 (累計)	
エ	地域づくり協議会設置	0か所	8か所 (累計)	基本目標 4

5 地域再生を図るために行う事業

5－1 全体の概要

5－2及び5－3のとおり。

5－2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

白石町まち・ひと・仕事創生推進計画事業

ア「本気！やる気！元気！しろいし！～若者が安心して働ける場をつくる～」
事業

イ「来てよか、見てよか、食べてよか、住んでよか、しろいし！～白石への新しいひとの流れをつくる～」事業

ウ「出会いに感謝！目指せ子宝のまち、しろいし！～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～」事業

エ「くらしに豊かさを、地域に絆を、人の温もりを感じるまち、しろいし！～まちに活力をもたらし、地域をみんなで盛り上げる～」事業

② 事業の内容

ア「本気！やる気！元気！しろいし！～若者が安心して働ける場をつくる～」事業

国・県・周辺市町と連携した企業誘致などにより雇用の場を確保し、そこに必要な人材を育成・確保し、U I J ターンを促進する。白石町の既存企業を育成・支援し、また、新しく起業することへのチャレンジや6次産業化に取り組む農林漁業者等に対し、段階に応じた支援を行う。農業支援体制を強化し新規就農者の育成・確保を目指す。

【具体的な事業】

- ・女性にやさしい空間づくり
- ・新規農業就業者対策支援
- ・白石町創業者支援制度 等

イ「来てよか、見てよか、食べてよか、住んでよか、しろいし！～白石への新しいひとの流れをつくる～」事業

白石町の魅力を発信し、道の駅を拠点として人・モノ・情報を積極的に交流させ、より多くの人に白石町の良さを伝え新しいひとの流れをつくる。都市からの移住希望者に対してワンストップで移住関連情報を提供できる体制を作るとともに、お試し移住や仕事の紹介などきめ細かな支援を行う。移住者が住みやすい受け入れ態勢を作り、「よそ者」目線でまちづくりに貢献してもらうことで地域の活性化を図る。白石町の観光資源を再認識し、それを結び付けることで観光ルートを設定する。また、農業体験などを盛り込んだグリーンツーリズムなどを周辺市町と連携しながら推進する。地震や水害等災害が少なく、安心して住むことが出来ることをアピールする。

【具体的な事業】

- ・ がばいよかところ発信事業
- ・ 空き家・空き地バンク、お試し移住
- ・ 交通手段の拡充（観光客の利便性の向上） 等

ウ「出会いに感謝！目指せ子宝のまち、しろいし！～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～」事業

結婚を希望する男女には出会いの場を、また、希望子ども数を実現できるサービスや子育て支援など安心して出産・子育てができる環境を整備する。定住促進対策と組み合わせた少子化対策と子育て支援、仕事と育児の両立支援など若い世代の結婚・子育ての希望の実現を目指す。子育ての悩みを1人で抱え込まず、相談・共有できる環境や、出産から子どもが就職するまで切れ目のない支援の実現を目指す。特色のある教育環境を整えることで、子どもの個性を最大限に発揮し、次世代を担う人材を育成する。

【具体的な事業】

- ・ 婚活サポート事業の拡充
- ・ 子育てに関するワンストップ相談体制の整備
- ・ 切れ目のない子育て支援の実施 等

エ「くらしに豊かさを、地域に絆を、人の温もりを感じるまち、しろいし！～まちに活力をもたらし、地域をみんなで盛り上げる～」事業

地域住民の積極的な参加の促進により、住民の声を行政に反映できる仕組みを構築する。また、地域の様々な課題に対し、これまでの行政主導ではなく、地域住民が主体となって課題解決に取り組むためのノウハウの習得や人材確保の支援を行う。突発的な自然災害等の対策のための施設や情報共有などの体制を整備する。地域の人々が持つ豊富な経験・知識・文化を後世に継承していくとともに、誰もが生き生きと活躍できる社会を目指す。男女がお互いに人権を尊重しつつ、責任も分かち合い、性別にかかわらず個性と能力を十分に発揮できる社会づくりを目指す。

【具体的な事業】

- ・ 地域づくり協議会の設立支援
- ・ 自主防災組織の組織化推進 等

※なお、詳細は白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略～農業と人情のまち
“しろいし”が輝き続けるために～のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

3,700,000 千円（令和2年度～令和6年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C Aサイクル）

毎年度末（3月）に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本町公式W E Bサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から令和7年3月31日まで

5－3 その他の事業

該当なし

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から令和7年3月31日まで